

提出 順番	No. 3	平成 29 年 8 月 25 日 午前・午後 / 時 22 分受領
----------	----------	--------------------------------------

平成 29 年 8 月 25 日

幕別町議会議員 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 内山 美穂



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>将来を見据えた住民 主役の地域公共交通 政策について</p>	<p>幕別町の公共交通は、JR が幕別帯広間で一日 14 往復、路線バスは十勝バスの帯広陸別線、幕別線、南商あかしや線、広尾線の 4 路線を運行しています。また、H25 年から幕別本町と札内地区でコミバスが、農村部では予約型乗合タクシーが H26 年から駒島線、H27 年から古舞線が運行を開始しました。スクールバスへの住民乗車なども出来るようになり、公共交通は「生活の足」としてだけでなく、高齢者が生きがいを持って他者と交流したり学びの場に参加しやすい状況をつくる意味でも重要になっています。さらには「まちづくりの土台」としての役割も担っていると考えます。</p> <p>しかしながら社会構造の変化によって地方路線バスの利用者は減り続け、国や沿線自治体が補助金を出して運行しているのが現状です。幕別町のコミバスは運行して丸 4 年。利便性があまり改善されないなど課題が山積し、乗車率も伸び悩む一方で、3 月に施行された道交法の改正により、今後地域公共交通に頼らざるを得ない人の増加が予想されます。</p> <p>コミバスについては、十勝バスとの 5 年間の運行協定が一年後に終了します。新たにどのような方策によりスタートを切っていくのか、この一年のうちに将来を見据えた運行体系を練らなければなりません。同時に利用者ばかりで</p>

はなく将来を担う子どもたちやマイカーを持つ人たちにも地域交通に関心を持ってもらえるような取組も必要ではないかと考えます。町内の交通網がより住民ニーズを反映したものとなるよう考えることから、以下の点について伺います。

- ① 町内の公共交通の現状と課題、町民ニーズについて
- ② 地域の実情に合った効率的で利用しやすいコミバス等の運行体系について
- ③ コミバスの通学利用に配慮した運行計画などの見直しは
- ④ 新たな利用者を増やす取組は
- ⑤ 一年後に向けた運行協定の見直しと住民参加の交通政策づくりについて

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。